

令和3年度 第1回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和3年4月20日（火）**18:30 - 19:30**

会場：レインボーセンター 多目的ホール

1 開 会 **18:30 - 18:32**

2 会長あいさつ **18:32 - 18:35**

3 議 題 **18:35 - 19:25**

【協議事項】

- ・令和3年度地域活動支援事業について

【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について

4 その他 **19:25 - 19:30**

5 閉 会

令和3年度地域活動支援事業 直江津区 審査スケジュール(案)

	委員のスケジュール	R元年度 当初募集 (実績)	R2年度 当初募集 (実績)	R3年度 当初募集 (案1)	R3年度 当初募集 (案2)	R3年度 当初募集 (案3)
1	募集期間(事務局対応)	4/1(月) ~4/26(金)	4/1(水) ~4/28(火)	4/1(木) ~4/30(金)	4/1(木) ~4/30(金)	4/1(木) ~4/30(金)
2	提案書の受領 (委員の手元)	5/11(土)	5/20(水)	5/14(金)	5/14(金)	5/14(金)
3	地域協議会の開催 (提案書の概要説明、 質問項目協議、 <u>公開</u> <u>プレゼン</u>)	5/14(火)	5/26(火)	5/18(火)	5/18(火)	5/18(火)
4	質問項目協議					5/21(金)か 24(月)
5	個別質問・意見票提出	5/17(金)	個別質問票の とりまとめ無し	個別質問票の とりまとめ無し	個別質問票の とりまとめ無し	5/25(火)
6	提案者への質問ほか (事務局対応)	質問依頼 5/22 質問回答 5/28 回答送付 5/31	質問依頼 5/27 質問回答 6/2 回答送付 6/5	質問依頼 5/20 質問回答 5/27 回答送付 5/31	質問依頼 5/20 質問回答 5/27 回答送付 5/31	質問依頼 5/26 質問回答 6/2 回答送付 6/4
7	地域協議会の開催 (質問票回答の受領・ 確認、全体協議)	6/4(火) ・提案者からの回 答を受けて、審 査する上での疑 問点等を確認	無し ・提案者からの回 答を各自で確認	無し ・提案者からの回 答を各自で確認	6/3(木)か 4(金)か7(月) ・提案者からの回 答を受けて、審 査する上での疑 問点等を確認	6/8(火) ・提案者からの回 答を受けて、審 査する上での疑 問点等を確認
8	採点表の提出 ・郵送、FAX、メール、 持参	6/7(金)	6/10(水)	6/7(月)	6/10(木)	6/15(火)
9	採点集計(事務局対応)	6/10(月)	6/11(木)	6/9(水)	6/14(月)	6/21(月)
10	地域協議会の開催 (採択事業の決定)	6/11(火)	6/12(金)	6/10(木)	6/15(火)	6/22(火)
	参考:追加募集期間(案)	7/25~8/9	7/1~22	7/1~21	8/2~16	8/2~16

直江津のまちづくりを話し合う会 開催結果について

1 開催目的

地域住民の日頃の思いや課題等について、地域協議会委員と意見交換を行うことで、「直江津のまちづくり」に関心を持っていただくと共に、地域課題等を共有する。

2 開催日時及び開催場所

- 一般住民対象…令和3年2月27日（土）午前10時～午後0時
会場：レインボーセンター 多目的ホールほか
- 地域団体対象…令和3年3月13日（土）午前10時～午後0時
会場：レインボーセンター 多目的ホールほか

3 参加者

- 一般住民対象… 36人（一般住民17人、地域協議会委員14人、傍聴者5人）
- 地域団体対象… 29人（地域団体14人、地域協議会委員15人）

4 開催内容

- ・直江津区地域協議会の取組について説明（地域団体対象-地域活動支援事業についても）
- ・意見交換（一般住民対象-4班、地域団体対象-2班に分かれて）
- ・全体会（班ごとに発表）

■意見交換の内容

- 一般住民対象
（A班…多目的ホール）

◇地域の課題と解決に向けた手法について話し合った。

- ・直江津のまちづくりの枠組み・ランドデザインが必要
- ・少子・高齢化：高齢者支援が必要。将来を担う子どもが少ない
- ・環境問題：海岸線の砂堆積。天王川の清掃
- ・まちの回遊性、雁木の延長方策、直江津駅～うみがたりの除雪の適切化
- ・まちの安全性、避難所・避難経路の明確化、高齢者の避難誘導
- ・古城小と直江津小の統合に伴う児童の通学方法
- ・雪対策 ・害獣 ・屋台会館の活用

- （B班…第一会議室）

◇住みたい地域とは何か、地域の課題は何かを考える…住む人自ら動くことが大切

- ・高齢者の触れ合いを重視。
- ・地域協議会は、地域活動支援事業の現場を見る必要がある。世代交代の必要性。
- ・各種地域団体などの応援隊を作ってはどうか。上から目線ではなく一緒に考える。
- ・やさしいまちだが、やさしい人が少なくなっている。
- ・福島城の情報発信。
- ・自分が何をすべきかを思わないといけない。
- ・イベントの誘客…上越まつりのリモート発信を。
- ・回覧板（地域協議会だよりなども）を見ない人が多い。若者がまちづくりに関わる仕組みづくり。嘆くよりもどうしたらできるかを考える。
- ・高齢者の活動の場が必要。呼びかけ方・作り方が大切。
- ・町内会のあり方を変える必要。町内会長の業務過多。
- ・少人数でも始めることが大事。むしろ3人くらいから始めるのが良い。

- （C班…第二会議室）

◇地域への想いを強く語る事ができた。

- ・市民いこいの家の問題
- ・海岸道路の整備、清掃
- ・高齢化に起因する諸問題
- ・屋台会館の修繕と有効活用。

- （D班…第三会議室）

◇生活・暮らし面、観光面の視点でまちをにぎやかにするにはどうしたらよいか、話を進めた。

- ・高齢化・老人問題
- ・環境、空き家、雪問題
- ・なおえつ保育園の民営化、市民いこいの家の廃止方針
- ・町内会（長）
- ・観光面

- 地域団体対象

- （A班…多目的ホール）

◇主に4つのテーマについて話し合った。

- ①五智公園を育てる会の活動
 - ・市管理施設における行政と市民の協働活動に敬意
 - ・地域活動支援事業でのベンチ設置の妥当性、行政側への働きかけの必要性
- ②古城小学校の閉校
 - ・石碑設置や記念誌発行の地域活動支援事業への提案を検討
 - ・企業、公の施設がなくなっていくことへの喪失感、地域としてのなりわい不安感
 - ・地域の少子高齢化→町内会活動の維持が困難
- ③三八朝市の存続と船見公園の活用
 - ・沿道住民の苦労や思い
 - ・朝市の衰退化→存続をどう考えるか
 - ・朝市の移動の検討を提起→船見公園の活用（買い物公園）、防波堤の防災機能
- ④五智居多ヶ浜シーサイドライン～うみがたり～船見公園の海岸線
 - ・ウォーターフロントの景観づくり・活用
 - ・歩道の安全確保（砂の除却）
 - ・観光ベースと生活安全ベース

- （B班…第三会議室）

◇主に2つのテーマについて話し合った。

- ①団体、町内会の担い手
 - ・現状として持ち回り制、役員職が苦手な方も
 - ・女性の登用、若い方への橋渡しの必要性
 - ・役員だけが悩んでいる→課題の共有化、小さいことから任せてみる
 - ・取組例…自分達のまちの良さをPR、共有する。町内会報でまちの情報を発信
- ②自主的審議事項について（地域協議会への意見）
 - ・うみがたり周辺の景観…以前に検討済み
 - ・まちへの想いを町内会で行動し、うまくいかない場合→まちづくりセンターへ